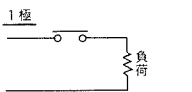
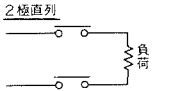
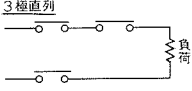


d. 直流負荷への適用

直流負荷の遮断責務は交流負荷に比較してはるかに厳しくなりますが、テンパール電磁接触器は下表のように適用できます。

負荷の種類	時定数 L/R(ms)	電圧 DC(V)	直列 接点数	フレームと定格使用電流(A)										
				10H 11H	20H	25H	35H	50H	50N	60N	100N	120N	150N	200N
抵抗負荷	1以下	24	1	15	25	30	50	60	70	90	120	140	170	200
		48	1	15	25	30	50	60	70	90	120	140	170	200
			2	15	25	30	50	60	70	90	120	140	170	200
		110	2	15	25	30	50	60	70	90	120	140	170	200
			3	15	25	30	50	60	70	90	120	140	170	200
直流モータ	15以下	24	1	6	10	10	20	20	25	35	40	60	60	100
		48	2	6	15	15	20	20	25	50	60	80	80	120
			3	10	20	20	30	30	35	80	90	120	120	180
		110	2	4	8	8	10	10	15	30	40	60	60	100
			3	8	15	15	20	20	30	60	80	100	100	150
コイル負荷	40以下	24	1	3	5	5	7	7	10	20	20	備考 ■接点直列接続方法    ●電気的寿命は25万回		
		48	1	3	5	5	7	7	10	20	20			
			2	5	15	15	20	20	25	50	60			
		110	2	3	5	5	7	7	10	20	20			
			3	7	15	15	20	20	25	50	60			
	100以下	220	3	3	4	4	5	5	5	7	7			
		24	1	2	3	3	5	5	7	10	10			
			2	2	3	3	5	5	7	10	10			
		48	1	2	3	3	5	5	7	10	10			
			2	5	7	10	15	15	15	30	35			
		110	2	2	3	3	5	5	7	10	10			
			3	5	7	10	15	15	15	30	35			
		220	3	2	3	—	—	—	—	—	—			

e. スターデルタ始動への適用

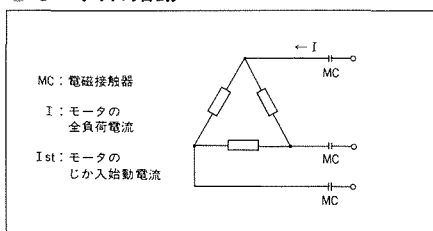
スターデルタ始動は、始動時にモータの結線をスター結線とし、モータの始動時の電流・トルクを $\frac{1}{3}$ におさえ、電源および負荷

に与えるショックを緩和させ、加速後デルタ結線に切換えて運転するクッションスターターとして最も一般的な始動方式です。

●スターデルタ始動器として適用する例

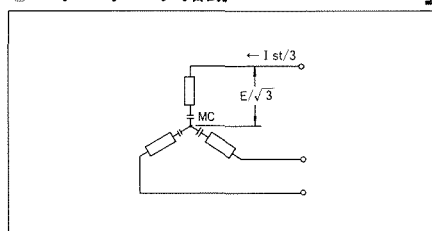
負荷の種類	負荷の例	電気的寿命
無負荷始動するもの	旋盤, ボール盤 プロア等	50万回
自乗トルク負荷 慣性負荷	脱水器 クランクプレス等	5万回

●じか入れ始動



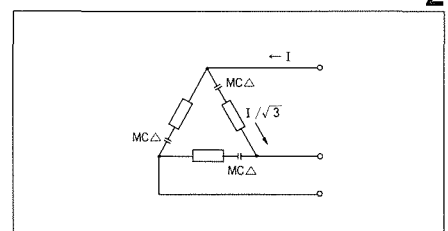
始動時、モータ全負荷電流の5～6倍の始動電流が流れますのでこの電流を開閉できる接触器、AC3級（定格電流の10倍の使用電流を開閉でき、8倍の電流を遮断できる）接触器を用います。

●スターデルタ始動



始動電流がじか入れに比べ $\frac{1}{3}$ であり、スターの運転時間は短時間のため、じか入の約3倍の容量まで使用できます。

2



モータが加速してから閉路し、かつ相電流を開閉すればよいので、じか入始動の約1.7倍まで使用できます。